

3 学期始業式 学校長あいさつ

2025年、新たな年、新たな学期がスタートしました。今日、こうやって3学期の始業式の日を、富田中学校の生徒の皆さんや先生方、職員の皆さんと一緒に迎えられたことに感謝の気持ちでいっぱいです。とても嬉しく幸せに感じています

昨年のちょうどこの時期に、石川県の能登半島を襲った震度7の地震から1年が経ちました。石川県では五百名以上の大切な命が奪われ、全壊や半壊した家が約三万棟という大きな被害となりました。

そんな巨大地震が発生した中で地震発生当時、津波が来る前に速く歩けないお年寄りを背負って高台に向かって走っていた青年たち。

水も食べ物もない不安と混乱のなか、食べ物を口にしていない避難所の人たちにお米を炊いて温かいおにぎりを配っていた方々や支援物資を運んで配るお手伝いや掃除を自分から始めた子どもたち。

避難所となった中学校の体育館で高齢者の方たちと一緒にラジオ体操をしたり、避難所の生活が少しでも前向きに明るくなるよう話題を工夫して壁新聞を作ったりしていた中学生。

過酷な現実のなかで、被災直後から誰かのために自分ができることを考え、前を向いて動き始めている方々や子どもたちのたくましい姿は今でも忘れることはできません。

そして地震から9ヶ月、少しずつ元の生活を取り戻しつつあった矢先に突然の集中豪雨により、石川県の輪島市や珠洲市は再び深刻な被害を受けました。その惨状に「なんで能登ばかりが、こんな目に遭わなければならないのか」とショックで誰もが言葉を失いました。

そんな中、輪島高校の校長先生はすぐさまブログに、「何度でも何度でも何度でも」の題名でこんなメッセージを生徒に送られています。

町のあちこちで流れ込んだ土砂のため、道路が通行止めになっています。頭の上を捜索や報道のヘリが飛び交い、消防車や救急車の音が鳴り止みません。まるで地震が起こった1月に戻ったようです。

ようやく入れた仮設住宅がダメになった生徒もいます。営業を再開したばかりの多くの飲食店が振り出しにもどってしまいました。

孤立した集合住宅には支援物資が届かず、「あるものでしのいでください」と言われているそうです。

でも、輪島のみんな。失うモノを無くした人間は、怖いものなど何もない。絶対に負けるな。生徒のみんな、未来への希望を捨てるな。

このメッセージを読むと、言葉にならない深い悲しみの中でさえ、生きる勇気と一筋の希望の光が見えてきます。

懸命に生き抜こうと励まし合い、復興に向かって前に進もうとする被災地の方々の姿に、辛い思いをしたからこそ、そしてそれを乗り越えたからこそ、本物の強さと優しさを兼ね備えた人間になっていくのだと思わずにはられません。

私たちは被災された方々の生き方から、「何に気づき何を学び取るのか」、そして「今の自分にできることは何なのか」を問い続けていきたいものです。

今日から始まった3学期は、卒業式、修了式を迎える大きな節目の学期と言えます。この節目の節は、「竹の節」から来ている言葉だそうです。竹の節は、なぜあるのか知っていますか。

この「竹の節」の部分は、ほとんど上に伸びてはいないので一見成長していないように見えるのですが、竹は冬の厳しい寒さに耐えて、時間をかけ頑丈な節をつくり、次に伸びるための土台を作るのです。

この節があるからこそ次にぐんと成長することができ、少々の風や雪の重みでは折れてしまうことはなく、曲がってもまた頭を起こして元の通りに戻るしなやかさと強さがあります。つまり節は、次の成長を支えるための無くてはならない大事な大事な土台なのです。



これは、私たちが努力しても成果が出なかったり、思うように行かず何もかも投げ出したいと思うぐらい悩み苦しんだりする時期とよく似ています。

こんな時は自分に自信が持てず、全く成長できていないと感じますが、もがき苦しい時期に投げ出さず頑張り続けたときこそ、実は次の成長のための大事な土台、節をつくっているときです。

ここを乗り越えた固い節があれば、これから先どんな壁につきあたっても、いつの日か顔を上げてまた歩き出すことができます。

皆さんには、すべてのことが次の自分の成長につながる意味のあるものだとして、「何度でも何度でも何度でも」諦めずに立ち上がる強さと勇気をもってほしいと願います。

そして3学期という大切な節目にしっかりと土台を作り、春からの新たな挑戦や自分の成長のために準備をしていきましょう。

ここで、新たな年を迎えた富田中の生徒の皆さんと先生方、職員の皆さんへ、そして石川の復興へ願いを込めて、ヒッピーさんが全力で届けてくれる「君に捧げる応援歌」を贈ります。

『君に捧げる応援歌』作詞作曲HIPPIY（動画）

3年生の皆さんは、いよいよ中学校最後の学期となりましたね。受験の不安や緊張もあると思いますが、素晴らしい力を持っている皆さんなら大丈夫です。ヒッピーさんの歌に「足りないモノは一緒に探そう！」とあったように、私たちも全力で応援していきます。

1年生と2年生の皆さんも、4月から一緒に過ごしてきたクラスの友だちや担任の先生と同じ教室で過ごせるのもあと残り2ヶ月です。自分の目標にチャレンジできる感謝を忘れず、前を向いて進んでいきましょう！

皆さんにとって幸せな一年となりますよう心から願って、3学期始業式のあいさつとします。